

郷土を愛する人々の雑誌

神戸っ子 昭和40年1月20日第三種郵便物認可  
昭和41年4月15日印刷 通巻61号 昭和41年4月15日発行 毎月1回15日発行

# 神戸っ子

## 4



magazine kobekko april 1966 no. 61

1966.4



神秘をひめた宝石

ミキモトパール

ながいあいた

貝のいのちと人の労苦が

いつくしみ育てあげた

永遠の宝石ミキモトパール

優雅・気品・格調

どんな言葉でも

いい表すことのできない

神秘の宝石です

 御木本真珠店

神戸店 三ノ宮・三宮駅西側南口

TEL 078-331-0000

大阪支店 東區・東大寺ビル

TEL 06-627-0240

東京支店 丸の内線・有明ビル

TEL 03-5561-1100

大宮支店 大宮駅西口南口

TEL 049-262-1100

これは神戸を愛する人々の手帖です あなたのくらしに楽しい夢をおくる

神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ これは神戸っ子の心の手帖です



W. H. H. H.



# Plaza de Toros MONUMENTAL - Barcelona



J. Crois Estrem

¥12,000

MADE IN DENMARK

DE 1962, a los CUATRO  
POR Y CON PRIMERO DE LA AUTORIA

CORRIDA DE  
BRILLARAS BRILLAR MUERTOS A  
BRAVOS TOROS en la plaza de D. F.

APARICION  
BERQUIN  
CHAI

¥13,500

¥3,200

¥9,400

¥12,000

¥2,300

¥2,600

¥18,000



TRANS-GLOBAL

トランスグローバル

本 社 神 戸 市 中 区 2603 特 約 店  
常 務 所 東 京 市 名 古 屋 区 名 古 屋 ト ー ア ・ ロ ー ド 39-1781



MADE IN SPAIN



神戸っ子アングル

# 家

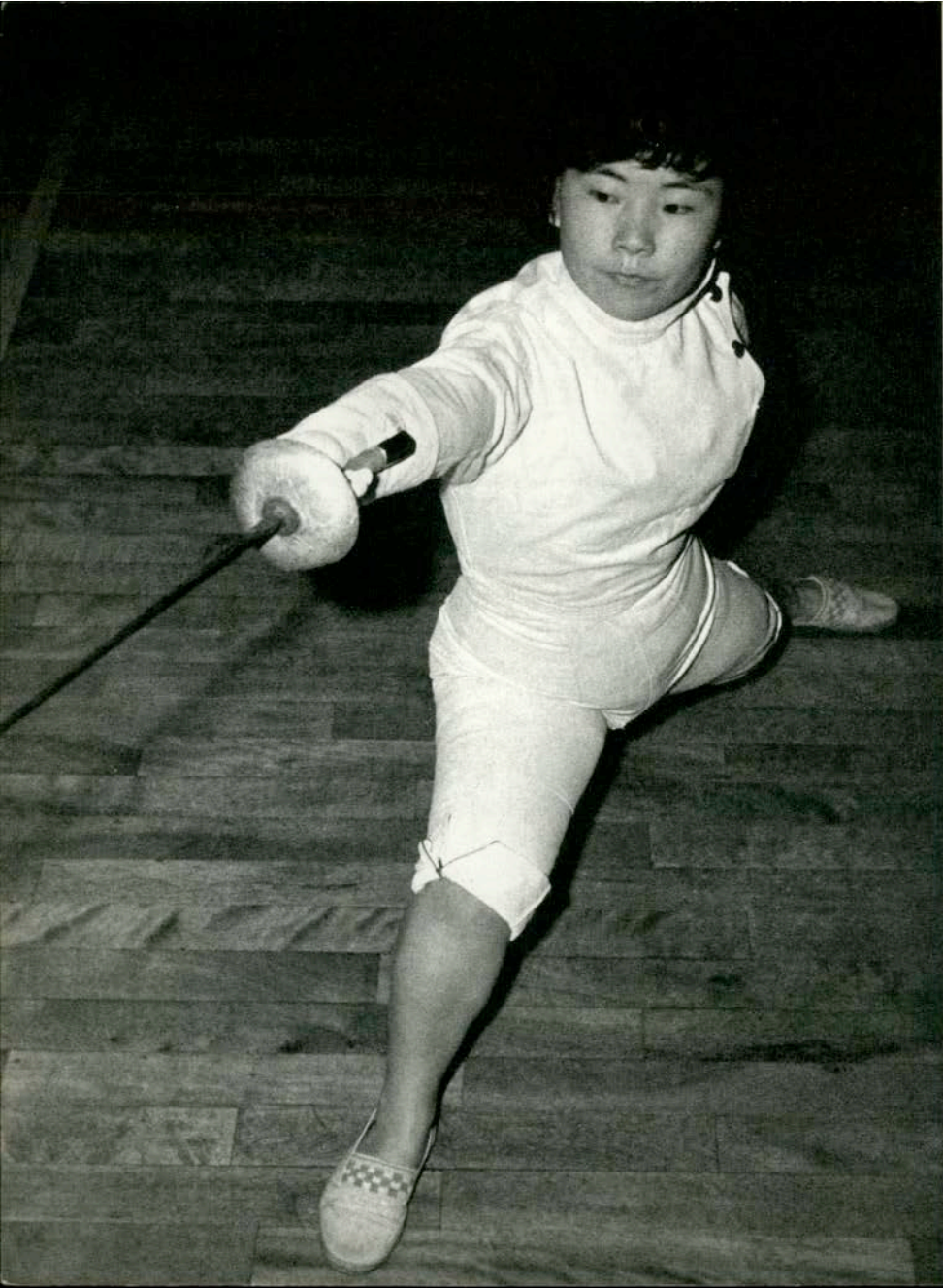
居谷京子

〈東洋信託銀行神戸支店信託課  
YMCAフエンシングクラブ〉

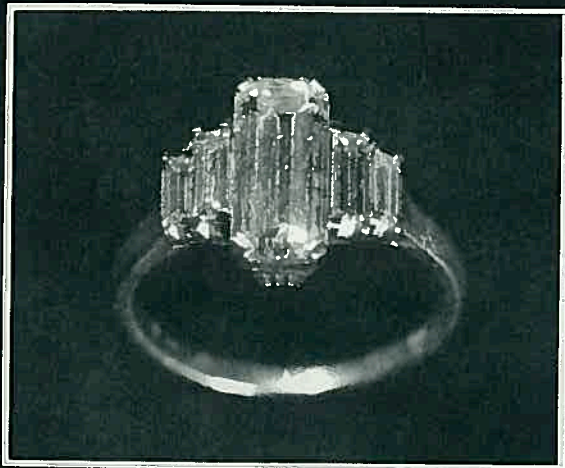
カメラ／春田佳章  
書／山路 梓

白いユニフォームに金ボタン。さつとオンガードの構えからランジへ攻撃にかわる。剣の先端がグイッと相手の胸もとをさす。居谷さんは東洋信託の信託課におつとめのオフィスレディ。小柄な普段の彼女を見ているとフエンシングとどうしても結びつかない感じだけれど、瞳が勝気な光をチラと見せたときにスポーツ・ウーマンの根性のようなものがうかがえる。星陵高校時代に兄さんの感化をうけてはじめてから五年目。面白くてやめられないそうだ。神戸にはフエンシングクラブはYMCAにしかなく女性はないからでも三人と貴重な存在。彼女の得意なのはバリー（守る）。女性には男性にくらべて攻撃の技をきそうよりも、剣を止める守りの型が多い。「スピードと正確さ。足腰の強さにフアイトがとて必要だと思っています。職場でもフエンシングをやるときのフアイトがどこことなく出てくるのでとても張りあいがありますね。韓国のYMCAと近く試合できるのが楽しみです。」とシャキッとした感じのお嬢さんだ。21才。

〈YMCA体育館で〉



確信をもってタジマの目を選んだ世界の宝石の名品！



★白黒ダイヤモンド掲載

*Tajima*  
タジマ

※※※ 宝石店 ※※※

ダイヤモンドのことならタジマ / 神戸市元町通2丁目〈山側〉TEL (33) 0387・2552

タジマの特典：当店で買取したのダイヤモンドは必ず価格より取り引き額をお約束しております。



神戸っ子アングル

# 空手

菅野 淳

〈社団法人日本空手協会師範  
菅野商事KK取締役社長〉

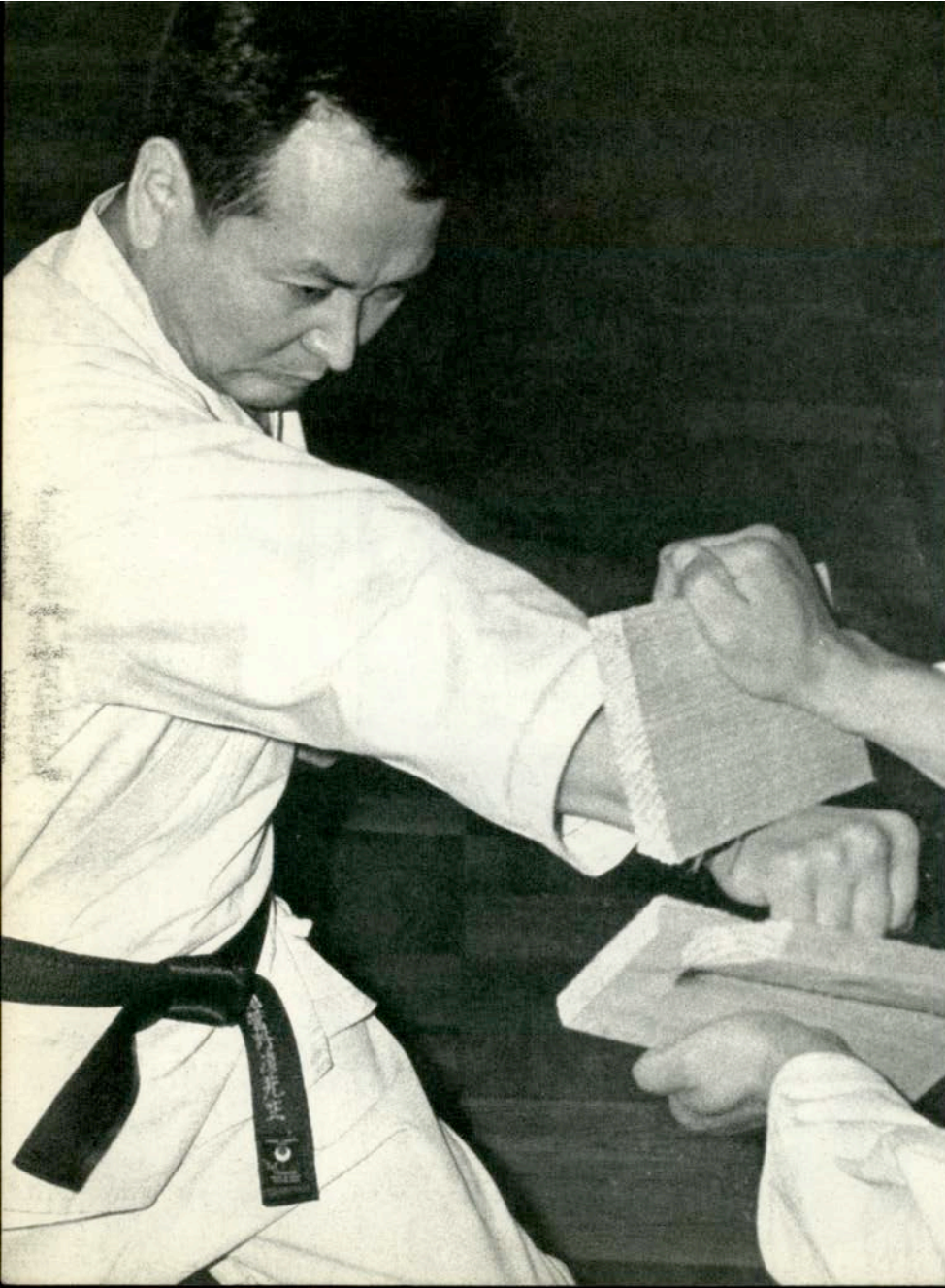
カメラ／春田佳章  
書／山路 梓

衝撃力七〇〇キログラム。スピードは秒速14〜15m。というのが社団法人日本空手協会高段者の「突き」標準威力。小型爆弾なみの凄まじさだ。

菅野氏が空手にとりつかれたのは満中時代。兄の治氏に手ほどきをうけた。「ケンカをしても負けへんぞ」と勇み足だった少年時代が懐かしいそう。法政大予科二年に感激の初段となつて、現在は六段。日本空手協会の師範。YMCAや毎日空手教室で、気魄のこもった稽古をつけている。空手ファンは多く中学生の少女達もいる。四月二日には女子部の入会式が開かれて二十名が参加した。美容にいいというだけの魅力ではなさそう。

「結局はくは空手が好きなんですな。仕事のあいまに何もかも忘れて汗を流す全身運動は最高の健康法ですよ。スピードとバランス。柔軟であること、そして稽古を初めたら続けること。これがなにより大切で、生活をコントロールして精神と肉体のバランスをとることが何よりです。それに汗を流したあとの一パイがたまらなうまいですワ」と菅野さんは愉快そうに笑った。三十八才。

〈毎日空手教室にて〉





すぐれたデザインと  
すぐれた品質によって  
あなたの  
心をなごませ  
あなたに  
優雅な美しさをそえる  
タサキパール



田崎真珠

三 宮 店・神 戸 新 聞 会 館 秀 品 店 内  
本 社・神 戸 市 美 倉 区 旗 塚 通 6-9  
東 京 パー ル フ ァ ーム・東 京 競 馬 店・東 京 ヒ ル ト ン 店  
東 京 オ ー タ ニ 店・羽 田 店・札 幌 店



春の陽がスベリ台に照く  
光る。こんな地主が台の上  
で「シェエッ！」  
献曲が「ワァー」のときあが  
る。明るくのびやかな子供  
たち。

就事が、リターナルとあが  
る。明もくひやかなす供  
た。

全話同人誌あり

の子供たちに読まれた動作  
童話・をめぐりて七年前に

これは文壇同人の作品集

同人は24人、新聞記者、  
哲マン、教師など幅広い業  
種の人も、共に一回の集

いには顔を照して、喧嘩し  
あう「あす」の説法は、六  
んなのびろは、で、水くこ

上の研究の俾、意の主張に  
読ませるデーター。本書、ス  
カイルがあるはずとユーモ

ア・SF、ナンセンス。生活

講が発表される。翌日を担

写真を前↓から「身」白三  
の波をのりきりて「身」末に植へ其

批屋孝子 明江戶末

生立、山、三、洋、子、の、集、  
家、吉、川、豊、子、の、面、露、子、の、主、  
狩、田、道、子、の、主、位、の、河、本、忠、義、の、主、

寫真又へり高橋が三

中筋博士 小田 幸次郎 小田 幸次郎  
小林 幸次郎 小田 幸次郎 小田 幸次郎  
小田 幸次郎 小田 幸次郎 小田 幸次郎  
小田 幸次郎 小田 幸次郎 小田 幸次郎

正圓郎 金澤市史





春から夏へのプレタポルテが入荷しました/  
パリジェンヌの装いを

神戸っ子のあなたに



村田\*真珠  
銀座山岡\*毛皮  
マリークリスチン\*舶来服飾

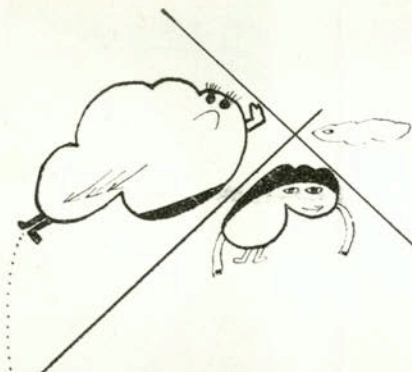
 **ムラタ**

さんちか\*レディスタウン・TEL 39-3886~7

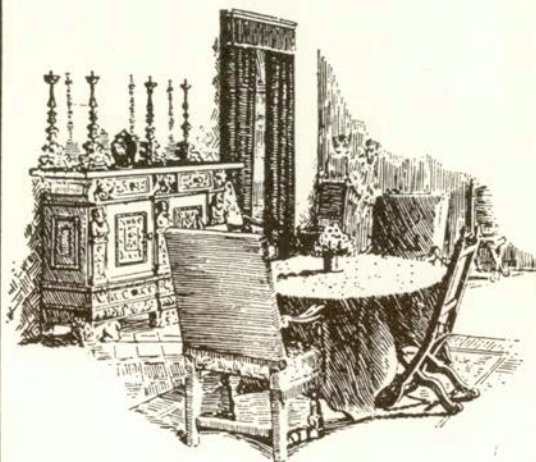


# 4月号目次

|     |                                                                       |
|-----|-----------------------------------------------------------------------|
| 1   | Second Cover / 津高和                                                    |
| 3   | グラビア / 神戸っ子アングル・突く<br>撮影・春田佳章 / 居谷京子・菅野淳                              |
| 7   | わたしの意見 / 宮崎辰雄                                                         |
| 11  | 随想四題 / 春日野道あれこれ・吉見敏治<br>神戸の花について・江越千代子                                |
| 12  | 選抜大会の思い出・吉本宗広<br>わたしをつくった・伊勢田史郎                                       |
| 16  | ある集い / 児童文学「あす」グループ<br>随想 / ベルリンのビート族・加藤一郎                            |
| 19  | 随想 / 想い出の神戸・高島忠夫                                                      |
| 22  | 神戸の文化をすすめる会 / 十河敏                                                     |
| 24  | 神戸っ子対談 / 小林芳夫・石野成明                                                    |
| 27  | 経済ポケットジャーナル                                                           |
| 31  | 神戸ドキュメント④                                                             |
| 33  | 豪華観光船 / 田崎義信                                                          |
| 39  | 灯台のあるホテル② 網代甲子郎                                                       |
| 40  | 映画のこと手当り次第② / 淀川長治                                                    |
| 42  | コンニチワ船長さん② ぎく人 / 玉奥章                                                  |
| 45  | 神戸っ子5周年記念神戸っ子祭から                                                      |
| 52  | マドモアゼル神戸 / 福富芳美                                                       |
| 54  | REPORTAGE de PARIS④ / 佐藤昭年                                            |
| 55  | 髪とアタセサリー / 西野明                                                        |
| 63  | 暮しのバラエティー / パリ・ルック                                                    |
| 67  | 座談会 / 神戸とオフィスとホビータイム                                                  |
| 73  | びんく・こーなあ / TV                                                         |
| 77  | れんさいマンガ④ ベッコ / 永井文明                                                   |
| 78  | 神戸遊戯誌② アーチェリー②・青大重雄                                                   |
| 80  | 神戸うまいもん巡礼④ / 赤尾兜子                                                     |
| 82  | 紳士入門③ / かげごと紳士・竹田洋太郎                                                  |
| 84  | ポケットジャーナル / 花時計                                                       |
| 92  | 異人館物語 / ヘルマン屋敷の巻①                                                     |
| 102 | シームズ事件 / 小山牧子                                                         |
| 107 | 連載小説第三回 / 兵庫の女・武田繁太郎                                                  |
| 110 | カメラ・緒方しげを<br>グラビア / 神戸銘店抄・陳舜臣<br>表紙 / 小磯良平・カメラ / 米田定蔵<br>レイアウト / 中辻悦子 |

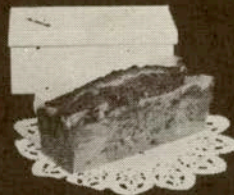


家具・室内装飾・工芸品



永田良介商店

大丸前 TEL { ③9 3 7 3 7  
3 7 3 9 }



をき菓子  
のツの  
いとるイ  
憩ひ飾ド  
風味

バウム・クーヘン  
ビスケット  
キングケーキ  
フランクフルター・克蘭ツ



ドイツ菓子  
Faehrein's  
ユ-ハイム

本店 神戸三宮生田神社前  
TEL (33) 1694-8064  
三宮店 神戸大丸前市電筋  
TEL (33) 2101 (39) 3808  
さんちか店 三宮地下街スイーツタウン  
TEL (39) 3 5 3 9

東京/銀座店・渋谷店 その他全国有名百貨店



# 人間を中心の 市政を考える

＊わたしの意見

宮崎 辰雄

〈神戸市助役〉



——神戸の町を考える会というキャンペーン記事を神戸新聞で読んだのですが？

「神戸市の将来をどういうふうにして持っていくかを、神戸市と神戸新聞と関学の学者グループが集まって考えたわけですが、いろいろ問題は山積みされているけれども、骨子の重点は、人間の精神面を中心においた町づくりをしようということ。今までの町づくりは、施設計画、建物計画が先行していました。つまり、福祉の問題は二次的な感じがありましたね。だからほんとに住みたくなるような神戸にするための、人間を重視した計画は私も賛成なんです。これからの町は、一つの細胞ともいうべき日常生活の機能をその単位で果してゆく『近隣住区組織』にしてゆけばということ。例えばニュータウン・ベッタウンを一人、一万五千人の単位にして、学校、幼稚園、ショッピングセンター、日常生活品／を作り新しい地域内でのコミュニティ、集団形成をつくることです。」

今まで町に住む人間はどうなるわけですか？

「現在の姿は自然発生的にできた町に町内会、自治会などという形なんです。そうでなく、鉄道、道路、通過交通を基本に旧市街も再編成して、その地域のなかに幼稚園、小学校、中学校、公民館、公園などを一万から一万五千人単位におさめ日常生活をその地域内でやれるような町づくりをやるということ。これなら住民のメンタルな面を尊重できる組織づくりでしょう。同時に私は単位はそれでいいけれど近隣住区をもう一つ細胞化して、幼稚園の区域をつくれと思います。子供たちは放課後の生活を幼稚園を中心に遊ばせて、家庭内の夜の話あいの場にも幼稚園を中心にするという形です。またその上に人間の能力、情操は幼児時代に形成されるので幼児教育／5才児／の準義務制を5年計画でたてて、それを将来の一つの核として、小学校以前の正常な教育を考えた。これは現在の市民と将来の市民とを含めて、教育を中心に町づくりをしてゆくことにつながります。理想論だけれど時間をかけて実現したいですね。」

# 【随想四題】

## 春日野道

### あれこれ

吉 見 敏 治（ハカットも）

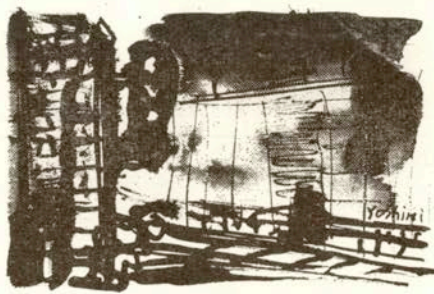
阪神電車の春日野道駅、ここはご存知の方も多いと思うが、会社が予定していなかった所を後からわざわざ駅にしたものらしく、随分、恰好の悪いというか不便な点が多いようだ。プラットの幅が狭く薄暗い感じで、何だか洞窟のなかにはいつているような錯覚におちいるときがある。スピードを誇る特急車といえどもホームに立っていて電車内にいる人の顔が誰だかわかるぐらい速度を落して、この駅を通過しなければならぬというわけで、電車の運転士にとっても「難物」の地点である。

乗降するのにプラットから階段を一たん降りレールの下をぐぐった後、累線状の階段をのぼるわけだが、これがまたひと苦労でたしか八十四段ある。ぐるぐる廻りながら、のぼってもなかなか地上に出られない仕末、老人などはヤットこさ改札口の前までたどり着くと、大きな溜息をつくか、腰をたいて苦笑するのを常とする。

チョッとアイデアをきかす人は急ぎの往路を阪神に、階段を敬遠

して市電かバスで「ご帰還」する次第となる。また雨降りの日には、この地下が重宝がられ利用者もぐんと増す。午后から雨になった日などは、三宮行の切符を追加しておかないと売切れになる。

私はこの春日野道という駅がさまざまなイメージを湧かせてくれるという意味で好きである。ここに勤務する日には箒を持って階段



をはくあい間、一人で塗料のハゲかかった天井や壁を眺めて、いろいろなことを想像してみる。

あるとき、青年が自殺をはかってプラットの陰から通過列車めがけて飛込んだが、命が惜しくなったのか、トッサに隧道特有のレールとレールの間に掘込まれている溝にはいつくばって奇跡的に助かったという例がある。彼は運の強

い男だが、今頃はケロッとして自家用車でも乗り廻しているかも知れない。

トンネル

ここの隧道にあるシグナルがまた滅法美しく、これを描き上げたことがある。その鮮烈な赤を中心に画面を彩った。当時個展にこの絵も一緒にならべると、友がこの「シグナル」に眼をつけ購うことを約束してくれた。これを新装開店再スタートを切るといある会社にお祝に贈ろうというわけらしい。考えてみると、この絵はつまり「赤信号」になっているわけだ。新装開店さあスタートという所へ「赤信号」とは、どうも「縁起」でもないとい私は一人合点した。

絵を渡すまでに二日ある。あわてて会場から絵をアトリエへ移した。この赤がなければこの絵は台無しだ。「画竜点睛を欠く」どころではなく、モトモコモなくなつて仕舞いそうだ……ところがである、恐る恐るこの赤の部分にコバルトグリーンをのせてみると、意外、赤にも劣らず美しかった。しめたと思った。

友は絵を受取りに来了。そして二日前の赤が青になっているのも気付かず、サッサと会社へ贈ってしまった。……あわてたのは私一人だったのかも知れない。

（独立自由美術・洋画家）



## 神戸の

### 春の花について

#### 江越千代子

六甲山頂附近の、樹々のふきつけ、眸を奪われるような霧氷の花がいつか消え、ヤマボクチの、ほはけた、淡い花穂のギヤマンの花が夢となると、神戸はもう本格的の春だ。背山のあちこちに、椿の紅がうら枯れの山に燃える。ほのぼのと燃える。春を告げる梅の香が流れる。

神戸の春の花と言えば、大正の半頃までは、何千本もの梅の木があったと言う、岡本の梅林のことがしのばれる。

梅の名所は、大和の月瀬、播磨の白国と言われたが、月瀬は、その芳を天下に流し、白国は、その香を近国に伝えたという。しかし「津の国の、難波の梅の名にしおふ、匂ひも四方に普く、一花ひらくれば、天下皆春なれや、萬代の猶安全ぞめでたき」とある。

難波の木の花、津の国の灘岡本の梅は、

津の国の岡本に咲く梅の花その香も千代の春やへつらむ（梅軒）と。古くから匂ひも四方に及び、一花開けば、天下みな春を通ず、とまで言われた。漁人という人の

歌に、

武庫山の、雪どけの水、梅が香を、流して茅渚の海も匂へりとする。小羅浮と言われ、観梅列車、電車まで出るほど賑った岡本の梅の郷を、今にかえすすべはないものか。

梅は岡本

桜は生田

松のよいのは湊川。

兵庫の俗謡にこのようなのがあった。その伝唱は、かなり古いと言われる。「梅は岡本、桜は吉野云々」とも伝えられた。しかし、こんな昔のあったことを知っている人は、わずかなものでろう。岡本の梅といい、生田の桜、湊川の松も、今は、ただ、はるかな香影となってしまった。

岡本の梅は、種類も多く、花も実も勝れ、白梅の種類は、養老、白玉（八重）重五郎、紅差（加賀とも云われる）甲州、はろめ、野梅など。紅梅は、濃淡、八重、一番種々ながら、総じて紅梅と云われるもの。枕草子にも「木の花は濃きも薄きも紅梅云々」とある。種類は、豊後、摩耶、りんしゅう（林州か）寒紅梅、唐梅など。そのうちでも

美しき花そめいて唐梅の  
からくれなるに匂ふうめ村

（野崎薫子）

の、歌にもあるように、唐梅は、岡本の代名詞になるほど知られていた。

唐梅の実はやや固く、清けて賞味する程ではなかったが、宇野葛代の歌に、

たがひきていつの世にしか唐糸の色も濃染に移し初めけん

とあるように、徳川時代から明治中頃まで随分久しい間、べに（紅）の原料として、岡本の梅は、大阪の紅商に出荷されたという。

△植物友の会々長▽

### 選抜大会の

#### 思い出

吉本宗広

昭和三十七年の選抜大会のことです。この年は隣りの育英高校とわれわれ滝川高校の二チームが兵庫県代表として選抜大会に選ばれ出場することになりました。当時、は育英高校も主将で四番打者の土井君（現巨人軍）が活躍し強力なチーム。組合せの結果育英高校は大会第三日目に北海高校と対戦することになり、われわれ滝川は第四日目に本大会出場中最も強力なメンバーを有し優勝候補の筆頭である四国代表徳島商工との対戦にきまったのです。両チームの選手は

お互いに郷土のために頑張ろうと決戦の日を待ちかねました。ところが翌日のある新聞の評に育英は相手が北の国で練習不足の北海道校であるから勝てるであろうが滝川は四国の雄徳島商工では恐らく勝つことは不可能であろうという新聞記事を見て、われわれ滝川ナインは更に勝利への意欲をもち立てたものです。私は選手に同じ高校生でやることに差のあることはない、必ず勝機はあると選手を励まし相手チームを研究しました

ところが相手徳島商工の練習を見て技術的には相当な差を認めざるをえません。よしこれに勝つには奇襲以外には手はなしと判断して、試合におけるいろいろの場面を予想し練習をしました。

いよいよ試合当日大試合における一回の攻防はチームにとってはピンチでもありチャンスでもあるという鉄則通りわれわれにも一回表に二死満塁のチャンスがやってきました。打者は六番捕手の石田君でした。彼はチャンスに強い打者でしたがさすがに堅くなっており、たちまち二ストライクと追込まれました。次は投手の定石通り一つはボールを投げると判断し三塁走者高羽選手にホームスチールのサインを送りました。彼も監督からいつスチールのサインが出る

か待っていたそうで、非常に良いスタートを切りホームに飛び込んできました。主審の手が水平になりホームインであることが判るやスタンドからは歓声が上がりました。まづ一点を先取した勢いに乗じ相手の失策を誘って一回の表に三点を先取し優位にゲームをすすめました。途中徳島の反撃に薄い薄氷を踏む思いでしたが結局七対五で強敵徳島に勝つことができました。あとで聞いたのですが選抜大会がはじまって以来一回表のホームスチールというのは、その時がはじめてだそうです。若しあの時に先制攻撃がなく相手のペースで試合が行なわれれば恐らく大差で破れたに違いありません。私にはその他昭和三十九年の選抜大会で日大三高と対戦し九回表迄三対〇で勝っていたゲームをその日から日暮れの為ナイターとなり不運な電光安打で逆転されたいやな想い出もあります。この試合は最終回迄完全に圧勝のケースでしたが最後に魔がさした様な敗れ方でした。小敵たりともあななどらずのよい教訓です。神戸という町は昔から野球の盛んなところで野球界には大選手が非常に多く、今でもプロ野球の選手や評論家及審判員で活躍されています。神戸出身者が中心になっていられるチームはな

んだかチームとして近代的な明るいムードを有しているように思えます。これも神戸っ子の特色であり、野球そのものにも土地柄が反映しているものと思われます。

△滝川高校野球部監督▽

## わたしを つくった

伊勢田 史郎

霧のふかい街、というよりスモッグでけむっている街を、彼は誰かに追われている街を、彼は何かを追いかけているものかも知れない。通りから通りへ。小路から小路へ。淡い街灯のひかりに映しだされながら、レインコートの男が足ばやにとおりすぎる。そして、闇。ふたたび、淡いひかり。とつぜん強烈な緊急自動車のヘッドライトに照らしだされる、ひとりの初老の長身の男。栗いろの長髪がぬれて、ひたいたにはりついていて。眼のきらめきは、いぶかしさとおどろきでいっぱい。彼の決意のように、かたく結ばれた唇。少し薄く、そして紅い。ロンドン空港の一隅でも撮られたものでそれはあったのだろうか。グレアム・グリーンのノベル「おとなしいアメリカ人」(早川書房版?)

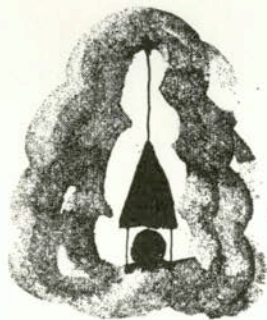


の裏表紙に、そんなグリーン自身の写真が印刷されていた。

「作品」と「作家」を考える。というほどふかい関心の在り方ではなく、ある充足感を与えてくれた「本」に載せられている著者の写真を見るのは好きだ。みず書房版「リルケ詩集」表紙カバーのロダン「リルケの首」写真も、その好きななかでのひとつだが、グリーンのほどでない。霧にぬれて立っている中年の男。しかもなおその孤独な姿勢のうらから強靱な意志がこちら側につたわってくる。「わたしをつくった英国」という彼の作品がある。彼をつくったのはもちろんイングランドでありロンドンなのであろうが、また彼のような作家が英国をつくりロンドンをつくったということも出来る。

わたしにとって神戸とは何なのか、と特にあらためて考えたことはない。そのくせ、それはつねにわたしのうちらであふれてやまぬ泉のように、つきぬわたし自身への問いかけであった。夕暮れの神戸の街を歩くのは好きだ。霧とも霏ともわからぬ淡くやさしいものが街をつつんでいる。十五、六年も前に勤めていた小新聞の編集長の邸宅が、北野の上海香港銀行住宅の近くにあつて、よく遊びにい

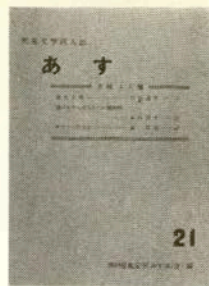
ったものだが、あの辺りのまがりくねった坂道は、道じたいに味がある。性格があるといつてもいい。春夜、若干の酒気とともに、彼の家を辞して帰る。坂道の途中、ふと、たちどまる。どこからともなく沈丁花が匂ってくるのだ。わたしは音痴で、また音楽を理解しようとはめたことがないから、よくわからないのだが、それでもこの道のどこかで、ピアノ



の美しい楽曲に出あったりして、こころよい一種の戦慄が身うちに走る、そんなことがあったのを覚えていいる。ときにはまた、サリーをまとった若いインド女性がわたしの傍らを過ぎていったのもこの道であった。その頃わたしは二十代で、今は三十代のなかばをこえて久しい。だが、神戸という街がわたしに与えてくれるものは、今なおわたしにとって新鮮な感覚である。ある夜、机にむかつてい

て、わたしは頼づえついたままでいる。数十分も。港で、霧笛が鳴る。何度も。それが煙り渋滞していたわたしの思考をときほぐす。ある日、何かに疲れてわたしは舞子の浜へ足をのばす。コンクリートの護岸の捨石に腰かける。深沫く波。たそがれゆく島。雲のすきまから、やわらかな光が海面へそそがれ、その光の中へ機帆船がうかびあがる。わたしは少し濡れながら、わたしのくらい疲労を風景の中へ、しづかに放つ。

わたしの詩のほとんどは神戸という街によってつくられたといっている。というより、わたしじたいが神戸の街にふかく影響されている。誕れ、生き、そして、おそらく此処で死ぬのであろう。グリーンにまねて「わたしをつくった神戸」と、死ぬまぎわには云ってみたい。な、と思ったりする。だから、夏の須磨、舞子など海浜の廃油による汚染や、鳥原貯水池や鳥原川の下水による汚染などに出くわすと、これらを排除するための方法をさぐりだしたいものだ、あるいは誰かさぐりだしてくれないものかと、わたしは切に思う。一市民の声とか行為など無力にちかいかも知れぬが、それらの集積が「神戸」をつくっていくではないかしら、とも思っている。人詩人



★ある集い★★★★★★  
★★その足あと★★

## 神戸児童文学

### 「あす」の会

小林 祥 晃

児童文学を中心においた児童文化のグループを作ってみようと思いついたのは、いつのことであつたのか定かでない。しかし児童文化研究誌と銘打って「あす」が、この世に姿を現わした日はハッキリわかつてゐる。一九六〇年六月一日√だ。だから、ぼくの頭にそういう構想がのぼつたのは多分一九六〇年（昭和三十五年）の正月ではなかったか。当時—いまでもそうだが—俗悪マンガの追放だとか、テレビの白痴化問題などが人々の口にのぼつていたように思う。そのときのぼくの率直な疑問は、それほど問題にするなら、なぜいい児童文化を大人が子供のために創造してやり、享受するように努力してやらないのだろうか？俗悪マンガを追放せよという本人

さんたちは、追放後に与えてやる文化財のことを考えているのだからか？—ということであつた。同時に、個人的には「風格」という雑誌によって大衆児童文学を書くんだと張り切つており、仕事の上では、こども欄や児童教育を担当していたという事情もあつて、ぼくの独断で「神戸こどもの文化を考える会」を作り、機関誌として「あす」を発行するに至つた。

初めは児童文化全般にわたつて手を広げるつもりであつたが、これは机上のプランであつたようで、雑誌を見ると児童文学が大勢を占めていた。そこで同じやるなら児童文学一本にしぼろう、一本にしぼつた上で児童文学そのものを幅広く捉えようと考え、一九六〇年六月の第六号から「神戸児童文学」「あす」の会√と改称、今日に來ている。

ある人たちに言わせると「一つの同人誌は主義・主張を持たなければ意味がない」そうだが、ぼくはそうは思わない。東京のように、同人誌が乱立状態にあるところは、いざ知らず、神戸のように大人の文学の同人誌はあつても、児童文学のそれがない地方では、まず児童文学を志す者がいっしょに集まる場と作品発表の場が必要である。「あす」は、その場を提供しているのだ。

したがって無節操と言われるかも知れないが入会希望者にはドン・ドンはいつてももらっているし、むしろかしい規約も設けていない。それに一人の大先生がいて、その人に添削指導してもらつたり、ありがたひ話を拝聴したりもしていない。人は、「ドングリの背比べ」だと評する。だが、ぼくは「ドングリの背比べ」でもよいと思う。添削指導やご意見拝聴で立派な創作が生まれるとは思わないからだ。

こんなわけだから作風も、作品の種類も、主義・主張も十人十色。それでよいと、ぼくは思う。文学とは結局一人一人の精神の所産なのだから。とにかく「あす」は、まだ「ぎのう」を出発したところなのだ。「あす」までの道程は長い。ゆつくり歩きましようや—という気持ちである。

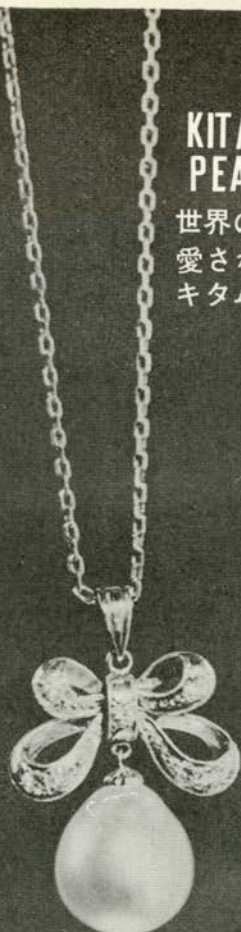
現在同人は二十四人。写真欠席：宇野喜久子（神戸・菊水小教諭）生駒茂（神戸児童相談所）森はな（文を書くお母さんの会）川井昭一（神戸新聞社総務局）田代奈美子（東京・主婦）野田道子（池田・主婦）友成光子（神戸・主婦）芹生公男（西脇高教諭）黒田芳之（姫路・越知谷小学校長）鎌谷嘉道（姫路・山田小教諭）誌友も二十四人。

▲筆者は神戸新聞学芸部▼事務局は宝塚市小林字西山一、公団逆瀬川団地17の40小林祥晃神戸児童文学「あす」の会。▲グラビヤ七頁を参照ください▼



KITAMURA  
PEARLS

世界の人々に  
愛される  
キタムラパール



北村真珠株式会社

神戸：元町店 TEL 33 0072  
オリエンタルホテル店 33 8111 EXT. 331  
東京：スキヤ橋店 TEL (571) 8032

春をつっぱしる  
ヒロタの銘菓 夢の超特急



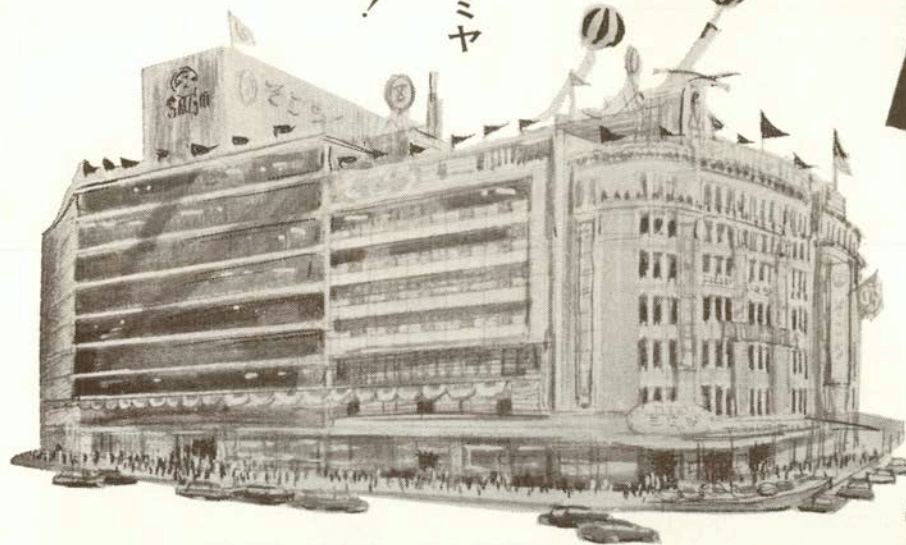
洋菓子の  
ヒロタ

本社★大阪市天王寺区上汐町6  
〈神戸〉 元町店・三宮秀品店  
さんちかスイーツタウン  
〈大阪〉 新大阪駅前・富国店  
大阪駅東口店・梅新店・ウメダ店  
戎橋店・ナンバ店・天王寺店  
天満店・塚本店・豊中店・尼崎店  
守口店・淡路店



神戸三ノ宮  
そごう

地上9階  
2倍の広さで  
デビュー！  
港都KOBЕの都心——サンノミヤ  
美しく大きくなった  
三ノ宮そごうで楽しいお買物を！



そごうのマスコット  
かわいい船長さん  
《四方晴美》